



計算尽くの  
女子高生が  
エンジェル  
投資家に  
憧れて...

ヨーズン3  
< 9 >  
Ver.0.2

ま

ト音記号  
(トー~~ン~~記号)

試行錯誤のじだいさくご

ーメリ      ーゆうと

☆ 計算尽くの女子高生がエンジェル投資家に憧れて...  
シーズン3 < 9 > ver.0.2

→ 保伊佐 保 と 秘書ヒサゴ の対談 ←

◇◇02◇◇

おはよう。フリーライターの保伊佐 保 [ホイサ タモツ] だ。今回は、

【秘書ヒサゴ】との対談を録音しているので、それを公開しようと思う。

ボイスレコーダーの調子が悪く聞き取りにくい箇所もあるが、ご了承願いたい。

まずは、【秘書ヒサゴ】についての概略をおさらいしておきたい。

◇ ◇ ◇

【秘書ヒサゴ】について

- ・ 20歳の男性
- ・ 現在は【荒伊波会長】の秘書
- ・ 【前野芽里】のおもりが主な仕事
- ・ 外国の超有名大学の修士課程を17歳で修了
- ・ 博士課程も順調にこなし、知人に誘われ有名ブランドの専属モデルでも活躍
- ・ モデルとして注目株だったが、数ヶ月も経たずに引退
- ・ アパレルブランドを立ち上げ、1年で100億円以上を稼ぎ出す程の急成長を遂げるが、突然ブランドまるごと売却
- ・ 博士課程も中退し、日本へ帰国。現在に至る

◇ ◇ ◇

【前野芽里】は謎しかないが、【秘書ヒサゴ】も不思議な男だ。

では、対談の一部始終を録音したデータです。どうぞ。。。。。

◇ ◇ ◇

◇◇04◇◇

【保伊佐】

あ〜あ〜、マイクのテスト中。聞こえてますか？どーぞ〜。  
...大丈夫かな？大丈夫だよな？録れてる？あー、あー...

(ガラガラッ！ガチャっ！！どすっ！こっッ！！)

【遠くの店員】

はあい！ラーメンいっちょういらっしゃいませ〜！！

【近くにきた客】

あ、すみませ〜ん。この席空いてますかあ？

【保伊佐】

ごめんなさい、もうすぐ人が来るんですよ...

【近くにきた客】

あ、そーなんですか、、、  
あたし20代前半の独身女性で、彼氏募集中だし、  
一人で来てるのにい。残念ですう

【保伊佐】

ごめんなさい。。。。あ、こっち、こっち！

【秘書ヒサゴ】

お久しぶりです。先程の女性はお知り合いの方ですか？

【保伊佐】

何か食べる？ここのチャーシューめっちゃ旨いよ！

◇◇05◇◇

【秘書ヒサゴ】

では、“熱々抹茶ソーダ”を...

【保伊佐】

すみませ〜ん!“熱々抹茶ソーダ”1つ〜...“熱々抹茶ソーダ”?!

そんなのあったんだ。。。。

◇ ◇ ◇

【秘書ヒサゴ】

しかし、また、斬新な場所と時間でのインタビューですね

【保伊佐】

そ?! ありがとう。あ、これからの会話は録音するから。

じゃ、スイッチを...

【秘書ヒサゴ】

もうスイッチ入ってると思いますよ

【保伊佐】

えっ?! あ、そのままにしちゃったか〜あちゃ〜...

もう声入っちゃってるけど...

【秘書ヒサゴ】

構いませんよ。そのまま記事にされてはどうですか?

その方がナチュラル感が出てて私は好きです

◇◇06◇◇

【保伊佐】

じゃあ、そうしようかな。では本題...  
お前、“秘密”を知っているだろ？

【秘書ヒサゴ】

秘密？[計算尽くの女子高生がエンジェル投資家に憧れて...]の  
[シーズン3]の[< 2 >~< 6 >]の[本文の最初の文字]  
をつなぎ合わせると【一つの言葉】になることですか？  
例えば< 2 >なら「い」、< 3 >なら「き」という具合に...

【保伊佐】

違う、そのことじゃない。  
では質問を変えよう...【前野芽里】は何を考えている？

【秘書ヒサゴ】

さあ...今頃は、  
“今日の朝食”を食べようか悩んでいらっしゃると思いますよ

【保伊佐】

朝食は食べたほうが良いって聞くよ？...  
じゃなくて、今後のことだ。過去2年間を振り返っても  
【ココロミ大使】としての行動は他の大使と比べても群を抜いてる。  
私的な“壮大な計画”があると俺は睨んでる

【秘書ヒサゴ】

私の知るところではありません

◇◇07◇◇

【保伊佐】

コワくないのか？経歴のほとんどが不明な奴だぞ？  
本当に16歳なのか、本当に【前野芽里】という名前なのか、  
本当に全て偶然で“偉業”を成し遂げてきたのか…

【秘書ヒサゴ】

私にとって【荒伊波会長】と【芽里様】は“絶対”です。  
“黒い石”を芽里様が“白”と言えば、私にとってそれは“白”なのです

【保伊佐】

それは教育上よくないのでは？

【秘書ヒサゴ】

例え話です

【保伊佐】

それはそうと、なぜそこまで【荒伊波会長】に仕えるんだ？

【秘書ヒサゴ】

私には【荒伊波会長】に  
“一生をかけても返しきれない恩”がある。  
詳細は語りませんが。。。。

【保伊佐】

そんなこと言われたら、今夜眠れなくなっちゃうだろ？！  
大雑把に、ざっくりでもいいから。さっ？



◇◇08◇◇

【秘書ヒサゴ】

分かりました。ざっくり言えば【荒伊波会長】は私に  
“成長できるフィールド”を与えてくださった。という感じです

【保伊佐】

ふっ。それだけ分かれば俺は自分で調べられるんだぜ？

【秘書ヒサゴ】

左様でございますか。ご自由にどうぞ。それはそうと  
ボイスレコーダーのバッテリーが切れそうですよ？

【保伊佐】

えっ？これバッテリーの点滅？！

「俺ここにいるぜ！！」って感じの自己主張点滅かと思ってた。  
でも大丈夫。俺も売れっ子のフリーライターだ。予備の乾電池を常備してる

【秘書ヒサゴ】

流石ですね。私も見習いたいものです

◇◇09◇◇

【保伊佐】

あれっ?! 入ってない。確かにあったはず...

あーそうかあ〜...昨日、リモコンに使ったんだ。。。。。

あっちゃべ〜...どーしよー.....。まあ、とりあえず、  
最後の質問だ、“熱々抹茶ソーダ”は“アリ”か“ナシ”か？

【秘書ヒサゴ】

ええ、結構なお手前で...

【保伊佐】

お後がよろしいよ.....（電池を交換してください）

.....

◇ ◇ ◇

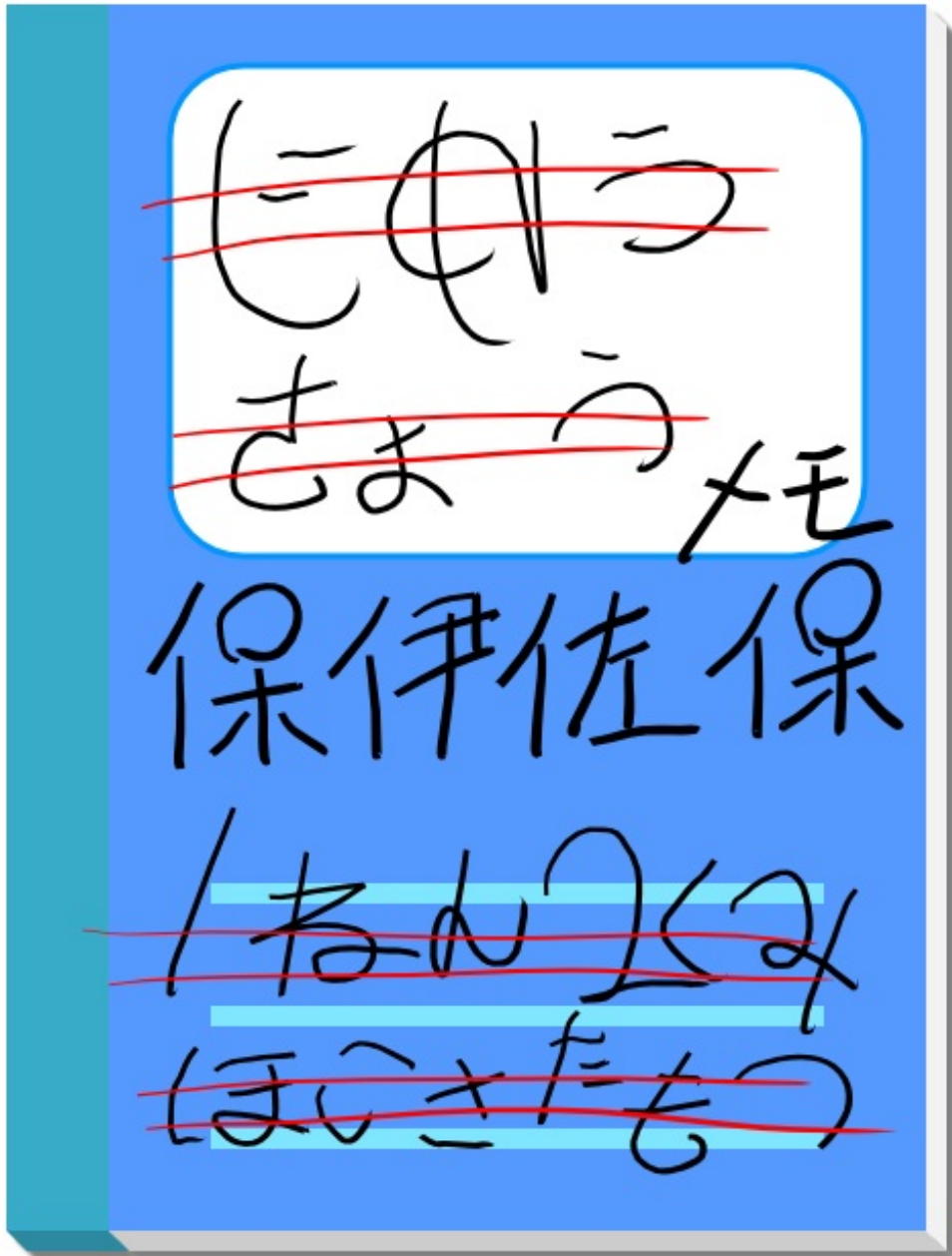
と、ここで何故かボイスレコーダーは録音をやめてしまった。

俺の気づかない間に【秘書ヒサゴ】が何か細工をしたのだと思う。

油断も隙もありやしねー奴だからな。

次のページで俺の【極秘ノート】を公開したいと思う。

極秘なので表紙だけな！特別だぞ？



と、まあ、こんな感じ……

だが、今回のインタビューで【荒伊波会長】【秘書ヒサゴ】【前野芽里】

がどういう関係性になるのか分かってもらえたと思う。引き続き俺は

【前野 芽里】を中心に周辺の人間も調査していく。

★ 計算尽くの女子高生がエンジェル投資家に憧れて…  
シーズン3 < 9 > ver.0.2……終

●この作品はフィクションです。  
実在の人物・故人・団体・地名・事件などには一切関係ありません。